

授業改善推進プラン 小学1年生

	各教科の課題	課題に対する具体的な授業改善策	評価
国語	①文字や文章を正しく読む。 ②相手に伝わるように話したり、聞きたいことを落とさないように聞く。	①文字と発音を一致させるため、馴染み深い平仮名を中心として、平仮名しりとりなどの言葉遊びを定期的に取り入れる。 ②基本の話型を指導し、他の意見に自分の考えを重ねる時間を設定する。話型を矢印でつないだ掲示物を作成して、内容を分かりやすくする。	【評価】 ①言葉遊びを通して、語彙の習得が捗った。また、繰り返し行うことで、スムーズに音読できる分量が増えた。 ②話型に沿った発表を繰り返したことで、考えを述べる方法・尋ねる方法を、各自一つはもつことができた。
生活	①自然に対して関心をもつ。 ②学校や地域について関心をもつ。	①動植物の世話や、季節ごとの自然と触れ合い考察する時間を多く確保する。 ②学校探検で多くの教員と関わったり、地域の行事を話題に取り上げたりする。	【評価】 ①日頃から動植物の世話ができる環境を整えたことで、進んで自然に関心をもつようになった。 ②学校に在る教員全員と話す機会・地域行事について確認する機会を図ったことで、学校や地域に関心をもつようになった。
算数	①文章から題意を読み取り、立式する。 ②基礎・基本的な計算力の定着。	①具体物や図を用いて、文章の場面が具体的にイメージできるよう支援する。 ②フラッシュカードや計算プリントを用いた復習を、定期的に行う。 ②板書とノートを一致させるため、ノートを拡大した紙を板書に活用する。	【評価】 ①「あわせて、ぜんぶで」など、注目すべき言葉を覚え、具体物の動作と関連づけた説明の機会を取り入れたことで、立式に自信をもつようになった。 ②反復演習の内容に、誤答の割合が高い問題やその類題を取り入れたことで、計算力が定着した。
音楽	①楽しく音楽に関わり、音楽表現を楽しむために必要な基礎的な技能。	①楽しくできる音階練習や、馴染みのある歌を繰り返し練習する。 ①リズム遊びで、交流する場面を多く設定する。言葉による指導とDVD視聴を併用して、内容を分かりやすくする。	【評価】 ①DVD視聴や教員による学習内容の視覚化を徹底したことで、音楽技法を進んで覚えようとする姿勢を身につけることができた。
図工	①自己の表現したいものを様々な方法で表現する。	①表現することで、新たな表現方法に出会う楽しさを味わえる学習環境を計画する。 ①友達の表現方法を自分の表現に応用できるような経験を積み重ねる。	【評価】 ①単元のなかで、友達との共同作品を作る機会を図り、気軽に表現方法を模倣できる環境にしたことで、表現を応用しようとする姿勢が身についてきた。
体育	①技能のポイントを自分なりに見つけようとする。 ②楽しく運動に関わり、活動に意欲をもつ。	①良かった点をすぐに伝え、称賛する。また、友達の手本を見ながら、技能のポイントを共有する場面を設ける。 ②ゲーム的な要素を取り入れた運動遊びを多く設定する。	【評価】 ①技能のポイントをその場で共有したことで、目標に近づくためのポイントを自分なりに考えるようになった。 ②様々な運動遊びに、意欲的に取り組む姿が多々見られた。

授業改善推進プラン 小学2年生

	各教科の課題	課題に対する具体的な授業改善策	評価
国語	①スラスラと文章を読む。 ②日常的に使える語彙を増やす。 ③丁寧な言葉と普通の言葉との違いを気を付けてつかう。	①繰り返し音読をする機会を設ける。また、語や文のまとまりに気を付けて音読させる。 ②国語の授業を中心に語彙を増やす活動を取り入れる。 ③場面や状況に応じた言葉の使い方を指導する。	【評価】 ①音読の繰り返しを行い、スラスラと音読ができるようになった。 ②使える語彙を増やすことができた。 ③日頃から自分の話し言葉を振り返らせたことで適切な言葉遣いができるようになった。
生活	①地域への関心を高め、その特徴を見つける。 ②身近な自然への関心を高め、それらを取り入れ、生活を楽しくしようとする。	①校外学習などの校外活動を通して、自分たちが生活している地域について関心を高める。 ②植物の観察の活動を通して、その変化や違いに着目させることで自然への関心をより高める。	【評価】 ①ゲストティーチャーなどの話を聞き、地域への関心を高められた。 ②一年間を通して様々な植物を育て、関心を高めることができた。
算数	①加減乗の基本的な計算が確実にできる。 ②子供達だけで自力解決ができる。	①一年間を通して計算問題に繰り返し取り組みせ、基本的な計算ができるようにする。 ②ペア学習やグループ活動を取り入れ、授業中に友達と相談する時間を設ける。	【評価】 ①基本的な計算問題はしっかりできる。ただ、くり下がりのあるひき算が苦手である。 ②友達と相談して様々な考えを引き出し、自力解決をすることができた。
音楽	①様々な楽器、音色、リズムに親しむ。 ②音程やきれいな発声に気を付けながら歌う。	①リズム遊びでいろいろな打楽器やリズムにふれさせ、友達と合わせる楽しさを味わわせる。 ②楽しく歌いながらも声をきれいにしたり音程に気をつけたりできたときに称賛し、意識させる。そのために、音程を取りやすいようにピアノでメロディラインを聴かせるなど、具体的な提示をする。	【評価】 ①いくつかのリズム譜を並べ替えたり繰り返したりしながら自分なりのリズムを作る活動を通して、リズムに親しませることができた。 ②今年度後半は歌唱活動ができなかったため、次年度に繰り返す。
図工	①制作を通して自分に向き合い、作品に愛着をもつ。 ②制作や鑑賞を通して作品から良さを味わう。	①制作の前にどんな作品を作りたいのか構成を練らせ、自分の思いや考えを大切に制作に取り組みさせる。 ②制作した作品の発表会を行い、自分たちの作品のよさを味わえるようにする。	【評価】 ①制作の前に設計図を作成したことでより一層作品に愛着をもつことができた。 ②友達の作品を鑑賞し、よさをみつけることができた。
体育	①運動が楽しくなるために、必要な動きや技能を身につける。 ②誰とでも仲良く運動ができる。	①時間ごとに重点的に指導する内容を絞り、一つ一つの動きや技能を確実に定着させる。 ②仲良く運動をするために必要なコミュニケーションや声掛けを伝えていく。	【評価】 ①スモールステップで指導をしたことで、一つ一つの動きや技能を定着することができた。 ②体育をする上での適切なコミュニケーションの仕方を指導したことで、仲良く運動できた。

授業改善推進プラン 小学3年生

	各教科の課題	課題に対する具体的な授業改善策	評価
国語	①目的に応じて、書くことを選び、読む人に伝えるように分かりやすく書く。 ②漢字の読み書きの定着。	①日記やミニ作文を書く機会を設け、自分の伝えたいことを書けるようにする。実態に合わせたワークシートを用意し、記述しやすいものにする。 ②間違えやすい点を指導し、漢字10問テストを定期的に行って力をつける。	【評価】 ①日記やミニ作文を書く機会を増やした結果、書くことに対して、躊躇なく書けるようになった。今後は、ただ書くだけでなく自分の伝えたいことを明確にして、書けるようになることが課題である。 ②ミニテストを定期的に行った結果、学期末の漢字50題テストでは80点以上取れるようになった。
社会	①身近な地域の地理的環境についての理解を深め、内地の一般的な地理的環境についての理解も深める。	①身近な地域については、実際に見学を行って理解する。内地での一般的な環境については教科書や写真資料を用意しそれぞれの地域の特徴について気付かせるとともに、身近な地域の様子と比較してまとめる。 ①板書の注目する箇所にマグネットなどを置き、視線移動の助けになるようにする。	【評価】 ①一般的な環境と島の様子をその都度比較することで、身近な地域に対する理解が深まった。 ②板書は集中して、ノートにまとめることができたようになった。
算数	①加法・減法・乗法・除法の確実な計算力の定着。 ②式の立て方、計算の仕方を考察する。	①授業のはじめに100マス計算を行う時間を設ける。スタートや終わりの合図に大きいタイマーを活用する。 ②自分の立てた式や自分で解いた計算のやり方を言葉で説明したり、友達の解いた式や計算のやり方を言葉で説明したりする。	【評価】 ①100マス計算を続けた結果、計算力が高まった。 ②授業中、自分の考えた方法を画用紙に書いて発表する、ということくり返した結果、わかりやすく説明できるようになった。
理科	①基礎的な観察・実験技能の定着。 ②知っている事象でも、科学的に確かめてみようとする態度。	①観察・実験器具の使い方を初めて使うときには、実験器具カード等を活用するなどして丁寧に指導し、身に付けさせる。観察・実験の意味を丁寧に指導する。 ②身の回りの当たり前の事象でも確かめてみることで、わかることの楽しさを味わわせる。	【評価】 ①ノート・プリントへの記入や実際に何度も使ってみることを通して器具の名称、道具の使い方などが定着した。 ②予想が外れることの面白さに気付き、自分で確かめてみようとする態度が育った。
音楽	①さまざまな音楽文化に親しむ。 ②基礎的な読譜能力を習得する。	①諸外国の音楽の鑑賞や和楽器に触れる時間を設ける。 ②階名唱を行い、楽譜を読む力を育成する。音階が色分けして示されているシートを用いて、読譜指導を行う。	【評価】 ①三味線、箏を用いて表現する活動を行い、音楽文化に親しむ心情が高まった。 ②楽譜を自分の力で読んで演奏する力が身に付いた。
図工	①自分と友だちの作品の違いを認め、他者を尊重して表現及び鑑賞する態度。 ②構想したことを筋道を立てて表現する。	①発想及び表現の工夫に着目して自分や友だちの作品を鑑賞できるようにする。 ②デジタルカメラで制作の様子を児童自らが撮影することで、振り返りを意識して行い、見直しをもって表現に取り組みせる。	【評価】 ①造形的な視点をもって豊かに鑑賞することができた。 ②ICT機器を活用し、定期的に表現活動の様子を記録することで、効果的に振り返りをすることができた。
体育	①種目に応じた、基本的な技能を身につける。 ②安全に気を付けながら友達と協力して活動する。	①具体的に例を挙げてやり方の説明をする。活動を行う中で良かった動きについて取り上げて意欲につなげる。 自分の動きをタブレットの動画で確認する。 ②ルールを守ることの良さ、気持ちの良い声かけについて具体的に説明する。	【評価】 ①良かった動きについて、その都度ほめたところ、意欲的に取り組んでいた。 ②ルールを守って、取り組むことができた。

授業改善推進プラン 小学4年生

	各教科の課題	課題に対する具体的な授業改善策	評価
国語	①漢字を正しく読んだり、書いたりする。 ②目的に応じて、自分の考えを的確に文章で表す。	①新出漢字を指導する際、熟語の読み方や、間違えやすい箇所を解説し、定着を図る。 ②他の教科や課題で自分の考えを書く時間を増やし、正しい文章表現の指導を充実する。	【評価】 ①教科書やドリルの漢字を正しく読めるようになった。また、ノートを書く時に意識的に漢字を使うようになった。 ②自分の考えをよく書けるようになったが、整理されておらず、まだ課題が残る。
社会	①複数の資料を読み取り、考え表現する。	①事前に板書計画に合わせたワークシートを作成することでノートの書き取り時間を減少し、教科書の資料を読み取る時間を増加することで、正確な読み取り方の定着を図る。	【評価】 ①資料を見て質問に答えるワークシートに繰り返し取り組むことで、正確に読み取る力が身に付きつつある。
算数	①加法・減法・乗法・除法を確実に計算する。 ②計算のしかたを分かりやすく説明する。	①どの単元でも導入時間に計算問題に取り組みせ、時間の流れを明確化し、確実な定着を図る。 ②自分の立てた式を発表したり、友達のやり方を説明したりすることで、分かりやすい話し方の向上を図る。	【評価】 ①四則演算が正確に、そして早くできるようになった。 ②積極的に発表できるようになったが、伝わりやすい話し方には課題が残った。
理科	①基礎的な知識の定着。 ②何を確かめているのかねらいを理解しながら、観察・実験を行う。	①基礎的な用語、器具の使い方などは、実験器具カードやワークシートに記入させるなど繰り返し丁寧に指導して理解を図る。 ②学習の導入を視覚化して提示し問題を捉えさせるなど、観察・実験の問題づくりや予想の段階を丁寧に指導し、目的を理解させてから活動するようにする。	【評価】 ①ノート・プリントへの記入や実際に何度も試してみることを通して器具の名称、道具の使い方などが定着した。 ②問題を日常生活と関連させながら捉えることができるようになり、課題解決の見通しがもてるようになった。
音楽	①音楽的な語彙を増やす。 ②曲想を活かした演奏表現をする。	①リズムゲームや既習の楽譜を用いて、基礎的な用語を習得する。リズムの長さを視覚的に確認できるカードを用いる。 ②歌詞や楽器に注意して鑑賞させ、イメージをもって演奏できるようにする。	【評価】 ①音楽の用語を使って合奏できるようになった。 ②音色や情景と結び付けて考え、イメージをもって表現できるようになった。
図工	①発想や構想の場面において広げたアイデアを表現活動へ収斂させる。	①学習課題の意識付けを明確にし、材料や用具に少し制限を加えることで、限られた中で表現の可能性を探るような授業設計を行う。	【評価】 ①児童同士でアイデア共有させて、よりよい表現方法を考え、材料の組み合わせや用具の工夫を主体的に行う姿が見られた。
体育	①自分に合った活動の場を選び、工夫して運動に取り組む。	①自分の動きをタブレットの動画で確認し、児童同士がアドバイスをし合うことで、自分に合った場の選定や動きの工夫を考える力の向上を図る。	【評価】 ①自分の動きについて、細かい所まで意識して練習に取り組むようになった。

授業改善推進プラン 小学5年生

	各教科の課題	課題に対する具体的な授業改善策	評価
国語	①文章全体の構成を考え、文法的に正しい文章を書く。 ②漢字を正しく、字形を整えて書く。	①課題作文や文章を要約する課題を定期的に出し、繰り返し添削を加えていく。 ②ICTの学習ソフトを活用し、書き順や気を付けたいポイントを視覚的に提示する。 ③小テストの機会を多く設け、即時採点し、宿題等で復習できるようにする。	【評価】 ①文のねじれが減り、文法的に正しい文章が書けるようになってきた。文章を書くスピードが速くなった。 ②漢字小テストの平均点が倍以上になった。
社会	①地図から正しい情報を読み取る。 ②資料から必要な情報を調べ、まとめる。	①児童一人一人がWeb上の地図を動かし、目的地まで到達する活動を取り入れ、正しい情報を読み取る力をつけさせる。 ②地図の正しい読み方を、小テスト形式で繰り返し指導する。 ③算数と並行しながら、グラフを正しく読み取ることができるよう繰り返し指導する。 ④資料の表していることの意味を全員で確認させながら、まとめさせたい情報を少しずつ提示し、丁寧に進めていく。	【評価】 ①方角を理解し、地図上の情報を正しく読み取ることができるようになってきた。 ②必要な情報を選択し、正しく読み取ることが出来るようになってきた。情報をまとめ、的確に表現する力をつけることが今後の課題である。
算数	①四則に関して成り立つ性質について理解し、正しく計算をする。 ②数学的な表現を用いて、自分の考えを簡潔・明瞭・的確に表す。	①小問題を少しずつ解かせ、性質が確実に身に付くようにする。 ②計算の手順が分かるように色分けしたカードを提示しながら授業を行う(全単元で色の順序は統一させる)。 ③各個人の考えを全員で読み合い、分かりやすい表現や図表の使い方を全員で共有できるようにする。	【評価】 ①正しい計算の手順が、おおむね身についてきた。 ②表現は分かりやすくなってきているが、算数の用語を使って表現することにまだ課題がある。
理科	①基礎的な知識の定着。 ②学習したことと自然の事象とを結び付けて考え、理解して説明する。	①基礎的な用語、器具の使い方などは、繰り返し実験器具カードやワークシートに記入させるなど丁寧に指導して理解を図る。 ②知識の提示は、自然事象と結び付けながら丁寧に整理して提示するようにする。文章で表現させるときはキーワードを示すなどの支援をし、自分で説明することに慣れさせる。	【評価】 ①ノート・プリントへの記入や実際に何度も使ってみることを通して器具の名称、道具の使い方などが定着した。 ②問題を日常生活と関連させながら捉え、比較しながら考えようとする態度が育った。正しい言葉で表現したり、文章で表したりすることへの意識はまだ低い。
音楽	①アンサンブルをする能力。 ②思いを込めて歌う。	①指揮者やパートリーダーを選出して、全員がまとめて演奏できるようにする。 ②楽曲についての話し合い活動を行い、イメージをもって歌う指導を行う。楽曲のイメージを喚起するピクチャーカードを用いる。	【評価】 ①パート内で計画的に練習することができるようになった。 ②曲のもつ歴史や文化と結び付けて表現できるようになった。
図工	①自分と友だちの作品の違いを認め、他者を尊重して鑑賞する。 ②自分の作品を客観化して鑑賞する。	①映像メディア表現による協同的な学習を通して、互いの違いを尊重しながら表現活動に取り組ませる。 ②同じ課題を個人または複数で進めることで、同じ視点で互いの作品について鑑賞させる。	【評価】 ①映像メディア表現に取り組むことで、協同してよりよい表現活動をすることができた。 ②相互鑑賞を行うことで、多角的な視点で鑑賞することができた。
家庭	①自分で手順を確認し製作する。 ②製作技能の向上。	①板書では手順を写真で視覚的に提示し、自分で確認しながら進めるように指導する。 ②振り返りシートでより技能の向上を図るための次の目標を立てさせる。	【評価】 ①自分で手順を確認して進めることができるようになった。 ②高めたい技能を意識し、取り組むことができるようになった。
体育	①基本的な運動技能の習得。 ②仲間と協力し、課題を解決する。	①スモールステップで課題を提示し、運動の特性に応じた楽しさを味わいながら、練習させる。 ②学習カードやICT機器を活用し、視覚的に理解しやすくさせるとともに、ペアやグループで課題について話し合い、発表する機会を設ける。	【評価】 ①積極的に練習し、基本的な運動技能を伸ばすことができた。 ②仲間と協力し、課題を改善することができた。
外国語	①伝えたい内容を整理し、自分の考えや気持ちを話す。 ②語順を意識しながら、活字体で基本的な表現を書き写す。	①考えや気持ちを伝える語句に慣れ親しませる時間を、多く設定する。 ②見本を見ながら書き写すことのできるワークシートを用意し、毎授業で取り入れていく。	【評価】 ①おおむね達成できた。 ②アルファベットや英単語を書くスピードが速くなった。また、単語に対する知識が広がった。

授業改善推進プラン 小学6年生

	各教科の課題	課題に対する具体的な授業改善策	評価
国語	①目的や意図に応じて、理由や事例を挙げながら筋道の通った文章を書く。 ②自分の意見を明らかにして、書いたり話したりする。	①国語以外の教科でも書く機会を増やし、書くことへの抵抗を減らす。理由や事例を挙げる際のキーワードを提示する。毎週末に作文の宿題を出し、指導する。 ②一人一人の意見を発表する機会を増やし、それぞれの児童が互いの意見を肯定的に捉えるようにする。	【評価】 ①苦手意識はまだあるものの、以前より書く力がついた。また、その自覚も普段の発言からうかがえた。 ②おおむね達成できた。自分の意見を自信をもって表現できることが増えた。
社会	①資料から情報を読み取り、自分の考えをまとめ、表現する。	①表やグラフ、絵図などの資料を取り上げ、児童にも同じものを配布する。資料について話し合う機会を増やす。授業後の振り返りを書く時間を充実させる。	【評価】 ①資料の読み取りはできた。自分の考えをまとめることに時間がかかる児童もいるが、表現することはできた。
算数	①自分の考えを筋道を立てて説明する。 ②前学年までの既習事項を確実に身に付ける。	①説明をする際に使うキーワードを掲示する。一人一人の考えを発表する機会を増やし、分かりやすい説明を紹介する。 ②関連する既習事項について復習の時間を多く設ける。パーシクタイムなどで前学年までのプリントを取り扱う。	【評価】 ①キーワードの提示が効果的だった。筋道だった説明が以前よりできるようになった。 ②何度も取り扱うことでその場では既習事項を思い出すことができた。しかし、しばらく経つと忘れてしまう児童もいた。
理科	①条件を制御して実験を組み立てたり顕微鏡などを正しく使ったりして正しく実験を行う。 ②実験結果からわかることなどを文にして発表したり記述で説明したりする。	①こうしたらこうなるという原因→結果の関係を、黒板で視覚化して整理しておき、常に意識しながら実験を組み立てられるようにする。また、実験技能の基本をカードやワークシート等を活用して丁寧に指導する。 ②予想や考察などを文章で記述する機会を増やし、慣れさせる。	【評価】 ①順序を考えながら実験をしたり考察したりする論理的な考え方ができるようになり、正確な実験への意識、技能が高まった。 ②言葉や文章で表現することに慣れてきたが、個々の差がある。
音楽	①基礎的な演奏技能を習得する。 ②既習の社会的知識と結び付けて鑑賞する能力を育む。	①演奏の様子を記録し、自身の演奏について評価させる。 ②他教科の内容と絡めながら鑑賞の授業を行う。地図や年表を用いて視覚的支援をする。	【評価】 ①録音を使って演奏を振り返りながら学習できた。 ②歴史や地理、文化と結び付けて鑑賞や表現をすることができた。
図工	①これまで身に付けた造形感覚をより意識化して表現及び鑑賞に取り組む態度を育む。	①自分で主題を生成して表現する卒業制作に取り組ませることで、図画工作科ならではの創造的な深い学びの場を設定する。	【評価】 ①これまで図画工作科で学んだことを卒業制作としてまとめ上げることができ、表現及び鑑賞の能力が相互に高まった。
家庭	①自分で手順を確認し製作する。 ②生活をより良くするための工夫を考えながら製作する。	①板書では手順を写真で視覚的に提示し、自分で確認しながら進めるように指導する。 ②使用目的を明確にさせ、製作計画を立てさせる。また様々な工夫例を提示する。	【評価】 ①先の手順の見通しをもって自ら進めることができたようになった。 ②使用目的に沿った製作ができるようになった。
体育	①基本的な運動技能の習得。 ②仲間と協力し、課題を解決する。	①スモールステップで課題を提示し、運動の特性に応じた楽しさを味わいながら、練習させる。 ②学習カードやICT機器を活用し、視覚的に理解しやすくさせるとともに、ペアやグループで課題について話し合い、発表する機会を設ける。	【評価】 ①積極的に練習し、基本的な運動技能を伸ばすことができた。 ②仲間と協力し、課題を改善することができた。
外国語	①外国語を使いコミュニケーションを積極的にとろうとする態度。 ②学習した表現を積極的に用いて、書いたり話したりする。	①児童間、児童教師間でのアクティビティを積極的に行う。 ②既習表現を黒板に貼ったり書いたりして、児童が見て使うことができるようにする。	【評価】 ①達成できた。意欲的にコミュニケーションをとれた。 ②達成できた。既習事項を外国語の授業以外でも使おうとする児童がいた。

授業改善推進プラン 中学 1 年生

	各教科の課題	課題に対する具体的な授業改善策	評価(年度末)
国語	①漢字・語句・文法事項における基礎基本の定着 ②自分の考えについて筋道立てて表現する力の育成	①振り返りができるように頁数を記入の上、漢字の書き取りを練習させる。国語辞典で調べた語句の意味をもとに、20字以内の短文を作らせる。 ②題材に対する考えを表現する機会を通して表現力を養う。	【評価】 ①漢字の書き取りや短文の作成をを計画的に行い、基礎基本の定着を図ることができた。 ②単元のまとめとして自分の考えに対する指導を行い、筋道地立てて表現する力が身に付いた。
社会	①基礎的・基本的な知識の定着 ②文章読解力の向上	①演習問題や定期的なテストだけでなく、授業中に学習のねらいを提示するとともに、適宜一問一答形式での復習を含めた振り返りに取り組む。 ②教科書や演習問題の文章を中心に読ませることから、読解力の向上を図る。	【評価】 ①②授業展開に単元の復習をかねた復習問題を取り入れたことで、基礎的・基本的な知識の定着が図れた。また文章に正対して取り組めるよう支援し、読解力の向上を図ることができた。
数学	①百分率、割合や分数など基礎基本的な知識の定着 ②基礎基本的な知識や技能を活用し、表現をする力	①毎授業において小テストや復習プリントを用いて繰り返し練習を行う。また定期的に放課後補習を行い、復習を行っている。 ②単元ごとに班活動や発表を取り入れ、表現活動の場を増やす。また表現活動の際には本時の流れを板書して視覚的に分かりやすいようにして、表現活動をスムーズに行えるよう支援する。	【評価】 ①復習プリント等を用いた演習により基礎基本的な知識や計算技能の定着・向上が図れた。しかし過去の内容でのつまづき等は引き続き復習していく。 ②表現活動を多く取り入れ、筋道を立てて表現する力が身に付いた。
理科	①基礎的な用語、観察・実験の技能の習得 ②「生命・地球」領域の知識の定着	①小テストや実技テストを実施し、用語や技能を身に付けさせる。それに向けた授業の復習を家庭で取り組めるように指導する。 ②実物の観察や自然現象の映像資料をもとに、自然現象についての知識・理解を向上させる。	【評価】 ①小テスト、実技テスト等により、基礎的な用語、技能を身に付けようとする姿勢が見られた。 ②観察、映像資料をもとに、自然現象の知識を深められた。
音楽	①基礎的な演奏表現の習得 ②読譜能力の向上	①姿勢及び呼吸指導を中心に、個々の演奏課題に応じた指導を行う。演奏姿勢を図で示す。 ②楽譜から読み解く鑑賞や、創作したものを記譜する活動を充実させる。	【評価】 ①姿勢に気を付けながら練習する姿が見られた。 ②読譜だけでなく、記譜の能力も向上することができた。
美術	①〔共通事項〕知識の定着 ②より自由に表現したり、互いの作品を造形的な視点で鑑賞できる態度	①小学校図画工作科での造形遊びを理論付け、整理し、主題を生み出すための技法や知識を〔共通事項〕を踏まえて実感的に理解させる。 ②美術館との連携授業を通して、作品の多様な価値を実感的に理解させる。	【評価】 ①②〔共通事項〕をより定着させることで、造形的な視点を深め、イメージを捉える力が高まり、美術館との連携授業では、主体的に鑑賞に取り組むことができた。
技術	①題材や課題、工程に対して見通しを立てる力の向上 ②すべての題材に意欲を持続させられる態度	①ICT機器を活用して前時と本時の学習内容を短時間で確認する。 ②実践的・体験的な学習の機会をこれまで以上に設けていく。	【評価】 ①②活動を定着させることで、前時から本時、次時へと学習内容を系統立てて取り組むことができた。また、主体的な実践から、よりよい生活を構築する資質を育成できた。
家庭	①基礎的な知識の定着 ②生活の中から課題発見・解決しようとする意欲	①既習事項を他の題材と関連させながら確認する。またICTを活用して、写真や動画を提示し、理解を深めさせる。 ②身近な生活課題を主体的に取り組む活動を充実させる。	【評価】 ①食生活の知識を関連させながら確認し、知識を定着させることができた。 ②防災等の身近な課題を設定することで、主体的に学習する意欲を高めることができた。
保体	①基本的な運動技能の習得と体力の向上 ②課題の解決に向けて、思考・判断し、他者に伝える力の育成	①各種目の特性に応じた技能と必要な体力を押さえ、スモールステップで課題を提示し、運動に取り組ませる。 ②学習カードやICT機器を活用し、視覚的にわかりやすいようにするとともに、仲間と意見を交換する機会を設け、理解を深めさせる。	【評価】 ①段階的に指導し、基本的な運動技能を定着させることができた。 ②仲間と協力し、課題を解決することができた。
英語	①基礎的・基本的な技能の習得 ②基礎的・基本的な技能を活用し、表現をする力の育成	①学習のねらいを明確にした上で、新出単語・新出文法を、ワーク等を活用し、繰り返し練習させる。 ②既習の単語や文法を用いて発表や報告をする機会を設定する。	【評価】 ①単語や文法事項を繰り返し練習させることができた。 ②発表や報告をする機会を設定し、表現力を養うことができた。

授業改善推進プラン 中学 2 年生

	各教科の課題	課題に対する具体的な授業改善策	評価(年度末)
国語	①漢字・語句・文法事項における基礎の定着 ②自分の考えについて筋道立てて適切に表現する力	①振り返りができるように頁数を記入の上、漢字の書き取りをノートに練習させる。国語辞典で調べた語句の意味をもとに類義語を比較させ、20字以内の短文を作らせる。 ②自分の考えに根拠をもって表現する機会を多く取り入れ、表現する力を養う。	【評価】 ①漢字の書き取りや短文の作成・比較を計画的に行い、基礎基本の定着を図れた。 ②表現について助言し、根拠をもって記述する力が身に付いた。
社会	①基礎的・基本的な知識を活用した演習問題に取り組む力の向上 ②授業内容の復習を行える力	①今後も基礎的・基本的な知識の定着について、学習のねらいを提示し、継続的に思考力、判断力、表現力等を向上出来るよう様々な演習問題に取り組ませていく。 ②自宅学習に取り組めるよう、単元ごとの復習問題などの課題を増やしていく。	【評価】 ①②授業や自宅学習における演習問題を増やし、課題解決に向けた支援を行うことで思考力、判断力、表現力等を向上させ、社会的な見方・考え方を育成できた。
数学	①関数などの基礎基本的な知識の定着、技能の向上 ②基礎基本的な知識や技能を活用し、表現をする力	①毎授業において小テストや復習プリントを用いて繰り返し練習を行う。また定期的に放課後補習を行い、復習を行っている。 ②単元ごとに班活動や発表を取り入れ、表現活動の場を増やす。また表現活動の際には本時の流れを板書して視覚的に分かりやすいようにして、表現活動をスムーズに行えるよう支援する。	【評価】 ①復習プリント等を用いた演習により基礎基本的な知識や計算技能の定着・向上を図れた。しかし過去の内容でのつまづき等は引き続き復習していく。 ②表現活動を多く取り入れ、筋道を立てて表現する力が身に付いた。
理科	①科学的な思考・表現の育成 ②家庭学習の定着	①実験結果の見取り方とグラフ・図・文などの表現方法を、生徒との対話を通して、生徒自身に見出させ、表現させる。 ②小テストを定期的実施し、それに向けた授業の復習を家庭で取り組めるように指導する。	【評価】 ①実験の結果・考察を科学的な言葉で説明する力が身に付いた。 ②小テストや実技テストをもとに、自分自身の学習を調整する姿勢が見られた。
音楽	①基礎的な読譜能力の習得 ②既習の社会的知識を活かして表現したり批評したりする能力の習得	①リズムカードや既習の曲の楽譜を用いて、読譜能力の向上を図る。音の長さを比較できるリズムカードを用いて、視覚的支援を行う。 ②鑑賞の関連事項として、他教科の内容と結び付ける指導を行う。	【評価】 ①リズムや音高を正確に読む力が身に付いた。 ②文化や歴史について、多角的な視点から考え、音楽と結び付けて考えることができた。
美術	①日々の自然との関わりと造形的な視点を融合させ、より自由で、創造的に表現及び鑑賞活動に取り組む態度	①自分なりに主題を生成し、「考えながらつくる」「他者の作品を考えながら見る」ことができるように、幅広い材料や用具との体験を通して、創造的な思考のプロセスを学び取らせる指導を行う。	【評価】 ①母島の環境や自然との関りを深めて、主体的に主題を生成して表現及び鑑賞活動に取り組むことができた。
技術	①題材や課題、工程に対して見通しを立てる力の向上 ②学習したことを生活に生かす態度の育成	①ICT機器を活用して前時と本時の学習内容を短時間で確認する。 ②主体的・対話的な学習を増やししながら、自分の生活を見つめる時間を確保する。	【評価】 ①②の活動を定着させ、前時から本時、次時へと学習内容を系統立てて取り組むことができた。また、よりよい生活の実現のため、技術と生活や社会についての理解を深められた。
家庭	①基礎的な知識の定着 ②よりよい生活の実現にむけた製作の工夫	①既習事項を他の題材と関連させながら確認する。またICTを活用して、写真や動画を提示し、理解を深めさせる。 ②布を用いた製作では用途を設定させ、工夫して製作する時間を充実させる。	【評価】 ①衣生活と消費生活の題材を関連させ、理解を深めさせることができた。 ②使用目的に合わせて、快適性等の工夫をすることができるようになった。
保体	①基本的な運動技能の習得と体力の向上 ②課題の解決に向けて、思考・判断し、他者に伝える力の育成	①各種目の特性に応じた技能と必要な体力を押さえ、スモールステップで課題を提示し、運動に取り組ませる。 ②学習カードやICT機器を活用し、視覚的にわかりやすいようにするとともに、仲間と意見を交換する機会を設け、理解を深めさせる。	【評価】 ①段階的に指導し、基本的な運動技能を定着させることができた。 ②仲間と協力し、課題を解決することができた。
英語	①基礎的・基本的な技能の習得 ②基礎的・基本的な技能を活用し、表現をする力の育成	①学習のねらいを明確にした上で、新出単語・新出文法を、ワーク等を活用し、繰り返し練習させる。 ②既習の単語や文法を用いて発表や報告をする機会を設定する。	【評価】 ①単語や文法事項を繰り返し練習させることができた。 ②発表や報告をする機会を設定し、表現力を養うことができた。

授業改善推進プラン 中学 3 年生

	各教科の課題	課題に対する具体的な授業改善策	評価(年度末)
国語	①漢字・語句・文法事項の知識を活用する力 ②自他の考えを吟味し、批評的に表現する力	①タイマーで時間を視覚化し、漢字の小テストを毎時間実施する。国語辞典で調べた語句より課題に応じて複数の語句から選択し、20字以内の短文を作らせる。 ②発表を通して自他の考えを批評的に表現する力を身に付けさせる。	【評価】 ①漢字や短文作成で改善策を継続して実施し、活用する力を身に付けさせることができた。 ②発表に対する指導を行い、批評的に発表できるようになった。
社会	①基礎的・基本的な知識の定着の向上 ②思考力、判断力、表現力等の向上	①既習事項の振り返りについて、様々な手立てを用いて取り組む。 ②学習のねらいを提示し、継続的に基礎的・基本的な知識を活用した演習問題に取り組む。	【評価】 ①②1年を通し、3年間の既習事項を復習できるよう支援し、基礎的・基本的な知識及び技能の向上を養うことができた。
数学	①複数の単元を利用した発展的な技能(応用の計算力) ②基礎的・基本的な知識や技能を活用し、表現をする力	①毎授業において小テストや復習プリントを用いて繰り返し練習を行う。また定期的に放課後補習を行い、復習を行っていく。 ②単元ごとに班活動や発表を取り入れ、表現活動の場を増やす。また表現活動の際には本時の流れを板書して視覚的に分かりやすいようにして、表現活動をスムーズに行えるよう支援する。	【評価】 ①プリントを用いた問題演習を行い、発展的な内容に多く取り組み、見方や考え方が深まった。 ②他学年に黒板を使って授業を行うなど、表現活動を多く取り入れ、筋道を立てて表現する力が身に付いた。
理科	①基礎的・基本的な知識、観察・実験の技能の習得 ②基礎的・基本的な知識をもとに、科学的な思考力の伸長	①小テストや実技テストを実施し、用語や技能を身に付けさせる。 ②観察・実験や現象の映像資料をもとに、対話的な活動を通して、基礎的・基本的な知識を活用して考えさせる。	【評価】 ①②小テスト、実技テスト、映像資料をもとに、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けられ、自らの学習を調整する力が身に付いた。
音楽	①自分の演奏を客観的に評価、改善していく力の育成 ②さまざまな文化や歴史と結び付けて音楽を味わう能力の育成	①録音や録画をして、客観的な振り返りと批評を行う。 ②諸外国の音楽や和楽器を用いて、文化と結び付けた活動を取り入れる。道具の使い方について、ピックアップカードを提示する。	【評価】 ①生徒が自分の演奏から学び、改善する力が身についた。 ②伝統芸能や音楽の多様性について見方・考え方が深まった。
美術	①他者と比較して自分の表現活動を振り返ったり、互いの作品を鑑賞する態度	①美術大学や美術館とのオンライン連携授業を通して、表現することの喜びや難しさを知り、個性を育むために様々な分野の作品に触れさせ、見方や考え方を広げ、作品を批評する力を身に付けさせる指導を行う。	【評価】 ①学年を越えた合同授業やICT機器を活用した美術館との連携授業を行うことで、多様な視点で鑑賞したり、造形的な見方や感じ方を深めることができた。
技術	①題材や課題、工程に対して見通しを立てる力の向上 ②基礎的・基本的な知識の定着と生活で活用する態度の育成	①ICT機器を活用して前時と本時の学習内容を短時間で確認する。 ②反復学習や振り返りができるように、毎授業ごとに自己評価シートを書き込む。	【評価】 ①②活動を定着させることで、前時から本時、次時へと学習内容を系統立てて取り組むことができた。また、「できたこと」を中心に書き込み、自己肯定感が高まり、学習意欲が態度に表れるようになった。
家庭	①基礎的・基本的な知識の定着 ②幼児とのより良い関わり方について考え、工夫する力	①既習事項を他の題材と関連させながら確認する。またICTを活用して、写真や動画を提示し、理解を深めさせる。 ②保育実習の課題を設定し、既習事項と関連させて取り組ませる。	【評価】 ①ほかの題材の知識と関連付けることで、幼児生活の知識を深めることができた。 ②課題をもって実習に取り組むことで幼児との関わり方を工夫することができるようになった。
保体	①基本的な運動技能の習得と体力の向上 ②課題の解決に向けて、思考・判断し、他者に伝える力の育成	①各種目の特性に応じた技能と必要な体力を押さえ、スモールステップで課題を提示し、運動に取り組ませる。 ②学習カードやICT機器を活用し、視覚的にわかりやすいようにするとともに、仲間と意見を交換する機会を設け、理解を深めさせる。	【評価】 ①段階的に指導し、基本的な運動技能を定着させることができた。 ②仲間と協力し、課題を解決することができた。
英語	①基礎的・基本的な技能の習得 ②基礎的・基本的な技能を活用し、表現をする力の育成	①学習のねらいを明確にした上で、新出単語・新出文法を、ワーク等を活用し、繰り返し練習させる。 ②既習の単語や文法を用いて、発表や報告をしたり、会話でやりとりをしたり、文章を書いたりする機会を設定する。	【評価】 ①単語や文法事項を繰り返し練習することができた。 ②発表や報告、やりとりをしたり、英作文を書いたりする機会を設定し、表現力を養うことができた。